

# 平成 20 年度事業報告

## 1. 概 要

平成 20 年度の世界経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発する金融危機、株安、原材料の高騰などにより、世界規模での経済危機に見舞われた。

一方わが国では 9 月に麻生政権が発足したが、世界的な経済危機に見舞われて、経済面では自動車産業をはじめ、電機産業など基幹産業が極めて厳しい状況が続き、暦年の実質 GDP 成長率は-0.7%、名目では-1.6%となった。また、日経平均株価も平成 21 年 3 月には 7,000 円台になった。一方、社会的には、北海道洞爺湖サミットが開催され、政府や自治体、マスコミ等が地球温暖化対策、CO<sub>2</sub>削減、省エネといった課題を大きく取上げた。そのなかで、照明の省エネに対する関心と期待が高まり、7月の閣議では電球形蛍光灯等の省エネランプの普及と、その国民への浸透に「あかりの日」を活用することが明示された。

このような情勢下、電球業界では平成 20 年（1-12 月）の経済産業省動態統計調査による電球類生産・販売統計では、生産は数量で前年比 92.6%、金額 90.5%、販売では数量 97.9%、金額 97.3%（4,308 億円）と昨年を 3 ポイント下回った。しかし、省エネルギー形蛍光灯は市場の省エネへの関心の高まりを反映し、電球形蛍光灯が対前年金額比で+37%、高周波点灯専用形の直管形が+2%、環形が+9%伸長した。

当工業会では関係諸官庁、学会、関連工業会と協調し、以下の諸施策を実行した。

1) 当工業会で纏めた「照明における省エネ提案」の施策の実行を目指し、電球形蛍光灯の普及による省エネ対策の提案を中心に、国及び自治体、他工業会と連携した省エネ活動を推進した。また、電球形蛍光灯のトップランナー基準策定に取組んだ。7 月には東京で第 2 回 Global Lamp Forum を開催し、世界のランプ工業会が照明の省エネを協同して推進することを合意した。

2) IEC 規格の審議と提案、JIS 規格への反映などを例年の通り推進し、蛍光灯の封入水銀量測定方法の IEC 提案、蛍光灯や LED の性能仕様など 8 件の JIS 制定・改正案を作成した。また、工業会規格「光源製品の安全性確認試験通則」を改訂した。

3) 次世代光源と期待される照明用 LED について、規格・基準の策定に加えて安全性、性能等の調査研究、関連情報の調査を行なった。

4) 製品安全については、消費生活用製品安全法に関連した JIS 制定に対応し、製品安全に関する工業会ガイドの改正を行なうとともに、会員各社の事故調査を実施した。

5) 環境分野では、製品アセスメントマニュアル、使用済みランプに関する Q&A の改正、ランプの特定有害物質使用制限ガイドラインの公開を実施した。また、欧州ランプ工業会と連携して、RoHS 指令改正への対応に取組んだ。

6) 28 回目となる「あかりの日」の諸行事を実施、街頭活動では照明の省エネを訴求した。

また「会報」を刷新し、国際会議関連記事をはじめ、省エネや有機 EL の特集記事を掲載した。またホームページを、より使いやすくなるよう全面リニューアルした。

## 2. 総務関係

(1) 通常総会、理事会、幹部会及び業界懇親会等の開催

- (2) 講演会の開催
- (3) 功績者表彰
- (4) 関係諸官庁、諸機関、諸団体との連携
- (5) 中小企業部会
- (6) 第 28 回「あかりの日」行事の実施
- (7) 欧州照明事情視察団派遣
- (8) その他

### 3. 業務関係

- (1) 業務委員会の構成と運営
- (2) 統計資料の収集と活用
- (3) 電球類及び安定器の購入、使用に関する情報
- (4) 新製品情報の周知
- (5) 家電公取協・家製協の情報
- (6) 広報業務
- (7) その他の業務関係

### 4. 技術関係

- (1) 企画推進委員会 (11 回開催)
  - (1-1) 省エネ基準検討分科会 (7 回開催)
- (2) 第 34-1 委員会 (3 回開催)
- (3) 蛍光ランプ、白熱電球、口金類、電球類試験方法通則、計 4 つの JIS 改正原案
  - (3-1) 蛍光ランプ JIS 改正分科会 (12 回開催)
  - (3-2) 白熱電球 JIS 改正分科会 (6 回開催)
  - (3-3) 電球類の口金・受金・ゲージ JIS 改正原案作成委員会 (4 回開催)
  - (3-4) JIS C 7801 改正原案作成委員会 (4 回開催)
  - (3-5) 一般照明用 LED モジュール (安全) JIS 制定分科会 (7 回開催)
- (4) 光源の測定委員会 (4 回開催)
- (5) 白熱電球技術委員会 (6 回開催)
- (6) ハロゲン電球技術委員会 (11 回開催)
- (7) 自動車用電球技術委員会 (3 回開催)
- (8) 自動車前照灯用 HID ランプ委員会 (4 回開催)
- (9) 蛍光ランプ技術委員会 (13 回開催)
  - (9-1) CISPR15 分科会 (2 回開催)
  - (9-2) JIS C 7803 IEC 整合作業分科会 (7 回開催)
  - (9-3) バックライト用蛍光ランプ技術分科会 (3 回開催)
- (10) 放電ランプ技術委員会 (9 回開催)
- (11) 無電極放電ランプ技術委員会 (委員会開催なし)
- (12) 照明用 LED 標準化委員会 (4 回開催)
  - (12-1) 照明用 LED 測定分科会 (4 回開催)

- (12-2) 照明用 LED 製品仕様分科会及び性能 JIS 制定分科会 (8 回開催)
- (13) 照明用 LED 技術委員会 (6 回開催)
- (14) 安定器技術委員会 (6 回開催)
  - (14-1) 蛍光灯電子安定器分科会 (5 回開催)
  - (14-2) 放電灯安定器分科会 (分科会開催なし)
  - (14-3) 放電灯電子安定器分科会 (9 回開催)
  - (14-4) 電子トランス類分科会 (6 回開催)
- (15) 高調波対策委員会 (3 回開催)
- (16) 環境対策委員会 (6 回開催)
  - (16-1) 放射性物質に関する対応分科会 (6 回開催)
- (17) PS 委員会 (6 回開催)
- (18) 包装委員会 (6 回開催)
- (19) 口金委員会 (4 回開催)
- (20) 知的財産権委員会 (10 回開催)
- (21) 関連委員会合同会議
  - (21-1) 蛍光ランプ・蛍光灯電子安定器合同打合会 (4 回開催)
  - (21-2) 放電ランプ・放電灯電子安定器合同技術打合会 (9 回開催)
- (22) IEC (国際電気標準会議) に関する活動
  - (22-1) IEC 国際会議への派遣
  - (22-2) IEC/TC34 国内委員会
  - (22-3) IEC/TC34/SC34A/B/C 回答原案作成委員会 (3 回開催)、SC34A 分科会 (4 回開催)、SC34B 分科会 (4 回開催)、SC34C 分科会 (4 回開催)
- (23) 社外団体との連携活動